

刊夕日二月十  
**常警日新聞**

定価二角五分  
電話五三三三  
發行所 常警日新聞社  
印刷所 常警日新聞社

或る日の會話 (六)

眞繼雲山

佛 どの邊の所が所望かの？  
凡 ヘイ、市議員でも縣會議員でも……何なら區會議員でも我慢します  
佛 もちつと上では何んじや  
凡 さてナ代議士でも  
佛 まだ／＼上では？  
凡 ヘーエー大臣でも？  
佛 まだ／＼上では？  
凡 それより上はありませんや  
佛 ほとけ様になつては何うぢや  
凡 ほとけさまに？ぶるぶるッ、桑原々々  
佛 何ぢや、その顔色は？  
凡 笑談ぢやありません、死なせて佛にしてやらうでせう  
佛 又しても馬鹿な死んで佛に成る話なら實も蓋も無いわい  
凡 ヘエ？  
佛 わしの言ふのはお前の現身そのまゝで佛様にして遣はさうといふんぢや阿彌陀如來や大日如來さては釋迦如來なんぞと同列にして貰ふてからに、皆んなから拜まれるといふ名譽なら満更でもあるまいが

佛 へ、へ、へ、そりや結構過ぎますけれど、そんなうまい話は逆も及びもつきません  
佛 いや／＼それを一念頓速の間に仕上げてやるんぢやが  
凡 それは千万添けない御思召で御座います、肝腎の阿彌陀様が何ういふ方か大日如來が何處にゐられるのか、まつた大日様とお釋迦様が同一人か別人か何が何やら皆目見當がつきません、本統に阿彌陀様や大日様があるものでせうか無いものでせうか  
佛 クヤ／＼言はせて置けば無禮なことまで申す  
凡 ねえ、本統にそんな佛様が何處かにゐられませうか  
佛 さアそれは、お前たち凡夫の淺智慧では結局分らんテ、分つた所は人間共の分別心に外ならん、分別で造り上げたものに救済力のある筈はない、分らん所に宗教がある神祕がある佛がある、たゞ黙して恭敬し禮拜するがよい、そこに彼岸への通路が開ける道は遙かぢや

綴り方

ねづみだいち  
平第一校第五  
山崎道雄

十燭の電燈の下で夏季練習帳をやつてゐると、臺所の方でゴトリ／＼といふ物音の音が氣にかゝつて、三番の問題がどうしてもとけない、「よし、ねづみだいちだ」とほろ／＼と持つて臺所にきてみると、大きなねづみは何かの袋にかゝつてゐる。「よし」とうなづきながら、ほうきをふり上げ「ヤッ！」兄さんと剣道をやる氣持ちで打下した「ガチャ／＼」といふ大きな音、瀬戸物のかげらが散つた、ねづみはどこへいつたのか姿がなくなつてしまつた、「しまつた！」と叫んだがもう間に合はない「誰だ！」お父さんの聲お父さんが目をさましたらしい。

科人婦・科産  
**院醫坂井**  
町田町平  
番九五五話電

十月五日より七日間

御婚禮花嫁衣裳特賣

松 江戸縷白紋羽二重下着 金四拾五圓  
丸帯緋紋羽二重襦袢  
竹 江戸縷白縮緬下着 金七拾圓  
緋縮緬襦袢丸帯  
梅 上等江戸縷白縮緬下着 金九拾圓  
丸帯縮緬羽長襦袢

◎京染無料 紋ニユース山崎御買上の方にお好みの色を別染致します

白生地 特價 紋ニユース 一三、五〇  
繭 二二、五〇

小紋錦紗八圓ヨリ 仙臺平袴金拾圓ヨリ  
金波羽織無地七圓五十錢 黒羽重モン付金八圓  
村山大島六圓五十錢 縮緬モン付金八圓  
本場銘仙三圓 縮緬 高貴織 金四圓  
銘仙 夜具縮緬三圓五十錢 高貴織 金四圓

新柄着尺モス二圓九十錢 正花裏地箱入七十錢  
三河正縮緬五十八錢ヨリ 綿ネル白時一丈モノ  
紺 八十八錢 ニコノ 八十錢  
木綿裏地 四十五錢 瓦斯大島半天地 四十五錢  
正紺フロン縮緬 五十錢

三井吳服店

平町 電話二八四番

■ 産名城磐 ■  
**出賣節銀**  
魚問屋  
最優最大日本生命平代理店  
志賀盛榮  
平四丁目電二一三番

△配達敏速▽

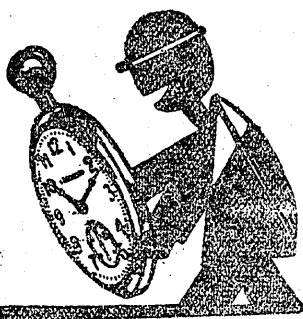
専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します  
往診 呼吸器病ばかりではありません  
平町南町六五

**川井内科診療所**  
電話一八一番  
醫學士 川井重之  
女醫 川井安子

時計を……

召すなら  
タイラの  
**精幸堂**  
常に信用と責任ある良品廉價



(向車動自テクキ)路小橋搔町平

度量衡、計量器、吸入  
用酸素、酸素吸入器  
**關内藥局**  
電話四〇番

貸切の御用命は？  
獅子吼(四四九)ノ勢デ  
眞先ニ……(マツサキ)  
三九二タクシーへ!!!

### 滿洲兵の家族を

#### 愛婦委員が慰問

▽……けふ午後一時から  
▽……これが具体的協議

愛國婦人會平委員區では目下滿洲に大活躍をしようとする當町出身駐屯兵の家族を慰問する事になつたので此が具体的協議會を本二日午後一時から平町會議事堂に於いて開いた

### 山の手方部活氣づく

#### 薪炭相が値上りして

薪炭價の値上りで各山村は一時に活氣づき選舉當時は殊に多忙を極め今もなほ猫の手を借りたい有様であり石城郡内山間部ではいづれも眞黒となつて朝から晩まで炭焼の眞最中、公林立木拂ひさげにもかなり激烈な競争があつた

### 平商生が

#### 軍隊を見學

平商業學校第五學生三十九名は軍隊内實知見學の爲め同校服部教頭及び駒場配屬將校引卒のもとに十三日より五日間仙臺第二師團工兵第二大隊兵營を見學すべく十二日午前八時二十分平驛發列車で出發するが豫定日割は左記の如くであると

### 土地賃貸

#### 調査大体終了

平稅務署の石城郡下土地賃貸價格調査はこの程漸く精了から愈々財産差押へを開始したが五年度後期分に就て

### 滞納整理

#### 着手 愈々財産差押

平稅務出張所では今年度縣稅前期分地租附加稅及特別地稅の滞納者に對し昨日から愈々財産差押へを開始したが五年度後期分に就て踏みしだいてゆく落葉の野道におのづから干からびてゐる落葉の一つ二つを街の人々は「自然のこぼれ實」を拾ふやうな喜悅の情で捜し、カチカチの皮を剥いて食べる

### 栗のいろさえて

#### おち葉に埋まる

#### 自然のこぼれ實

およそ機械文明の鎔鑄鐵の真中で 人間はニグロの幻想であるジャズに魅力を感じる、磁の極から他の極への憧憬！原始の世界を翹望する心理こそゴッガン

の憧憬がタイチにありアンリ・ルソンの熱情が原始世界にあつたのをものがた

も差押へに際し各農家が疲弊しきつてゐる結果差押へ物件がなく始末に窮した例があり今回も全く係員が手を焼いてゐる

### 道路改修工事

平土木監督所では廿九日より石城郡飯野村大字北白土字中島地内道路改修工事を工費六十五圓を以て着工四日竣工の豫定であるが同郡夏井村大字荒田地内道路も工費四十圓を以て同日より着工四日竣工の豫定

### 新酒は増石の豫想

暫くぶりで此の氣運

平稅務署で本年度の新酒仕込みについて調査したところ各酒造業者よりの申告總數清酒一萬二千二百廿四石焼酎三百五十二石で前年度より四百廿九石増の豫想を示してゐる、同署管内の酒造高は去る大正十三年來年々減石の一途をたどつてゐるといふ豫想相場である

### 鑛産稅の

#### 委讓促進

方委讓は漸次具体化しつつあるがこれが促進のため本縣代表として大平勿來町長野木内郷村長は一日上京全國關係町村代表者と協力し現方陳情した

### 同窓會は明日

平第一小學校同窓會は明日午後一時から同校において開催されるが伊藤南洲氏の講演ある筈

### 油槽設置認可

#### 江名

漁港の油槽設置について小名濱港では同様給油タンクを新設すべく同町警城水産工業會社が此程縣に對し認可申請中のところ一日これが認可されたが工費は一千七百圓

### 石城瀾取引狀況

△四倉瀾市場 十月一日 (白瀾)八四四貫(最高)二圓八十八錢(最低)二圓十二錢(馴二圓)六十六錢

### 平町人事

#### 出生

△長橋町二三 當時石城郡湯本町字辰ノ口 大谷要吉氏二男建

### 縣議戰の跡を顧みて

#### 永山勇吉 (下)

それから青年田子の第二位當選。これは將來活目に價する現象といはねばならぬ。その實体に於ては正に孤軍奮闘であつた。重責にある鈴木福島支部幹事長は暇なき身を井上候補の事務長として、天晴れ井上を飛び切りの最高点に押し上げたが田子の事務所には一度も顔を出したことがなかつたといふ、こと程左様に青年田子は孤立であつた。それが開けて見ると第二位と来た筆者は特に田子のため筆を曲げ、譯ではないが、田子の得票の中には、同情で貰つた投票は一つもないといふことだ。怒らないでくれ給へ、同情で投票を貰ふといふことは、乞食が憐れを人に賣つてパンを貰ふのと同じことである。人に同情を賣らず孤立にして無援の田子が然も第二位に當選したといふことは、まことに石城政友の誇りとするに足るべく、秋風落葉たる石城政友の前途に一点の光明を点じたるの感がある。どうも石城政友本來の最高幹事は新らしき民衆の歸向を見

### 看護婦急派

#### の求めに應

#### じます

#### 平町南町

### 平看護婦會

電話三〇七番

(終)

### 病床の父を捨て、男から男へ……

家を他所にして痴態の限り不孝娘を娼妓に賣り度いと平署へ變つた願出

石城郡平窪村大字下平窪字川中子加藤吉之助(九)は三年越の病床にあつて働けず糊口に苦しんでるのに長女ミツ(九)は其看護も爲さず家を他所にして男から男へと移り歩き

父親が 如何に意見して改まらぬので隣家の山田某が同情し昨夜吉之助と相談の上斯んな親不孝な娘は娼妓にでも賣飛ばすがよからうと山田は本日午前十一時頃平署に出頭娘を娼妓にするには

如何様 にはせしむしとやと眞面目になつて伺ひを立てたので係官もあきれ如何に親不孝者でも娼妓に賣るとは心得違ひだ娘を説諭してやるから連れて来いと

矢継早の告發に 検事局忙殺さる 野崎萩原兩派の反目 昨日も数名召喚

今回の縣議選に依つて野崎萩原兩派の反目抗争は一層熾烈の度を加へ野崎派の闘士は萩原派の選挙違反をあげかねと矢継早の告發を浴せかけて居り平検事局も數日來是等の取調へに忙殺

### 女子青年團 事業資金 成

映畫會開催 平女子青年團にては八日午後六時半より平館に於て事業資金造成の活動寫眞を催すべく目下各區の會員が夫々手分して會員券頒布中であるが會員は廿錢の由

### 運動會日割 平各小學校

平町各小學校秋期陸上運動會日割は左の如し  
△十三日 第二校  
△十五日 第三校  
△廿三日 第一校

時半からマリヤ會を開く筈にて當日は午後一時迄が音楽があり夫れから一時間中村牧師の講演「神の御姿」を終つて茶話會を開くと

### 硝子窓破壊 亂暴トラック

今二日午前五時半頃平町田町通りを疾走中の七八一號マラックは路上の硝子を剝ね飛ばして同町金子洋服店方の硝子窓を破壊したので平署に該トラックの搜索方を願出た

### 虎眼一割以上 接客業者検眼

平署で調査した九月中に於ける管内の接客業者中のト

### 機關車の車止めが 燃え出して立往生

平郡線の珍しい事故

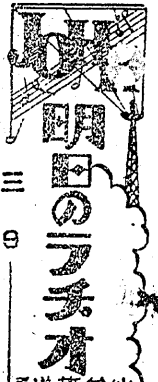
磐越東線下り貨物五七列車が一日午後三時十分頃赤井驛附近で機關車の車止ビスが燃えた爲め運轉不能となり四十分立往生し救援車に連結漸く郡山についたが珍し事故である

### 子が戀し 思案する女

昨日午後一時ごろ平驛待合室に悄然としてゐる女を不審に思ひ取調べると同女

### 「火事だッ」 突然の悲鳴

昨夜十時頃平町紺屋町清水屋旅館方にて「火事だッ」と騒出した者があつたので附近の者が駆けつけると一向火の手は見えず火事は何處かと拍子抜けしたがこれは同旅館方女中千葉縣生れ荒井マツ(四)が突然狂狂して怒鳴り散らしたものと判明した



明日のラジオ 報豫氣天 今晩は北西の風 曇り明日は北西の風天氣良し

### 今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 童謡と唱歌「お山は赤い」その他 三日子供會
- 後六、三〇 英語講座「初等科」九岡倉山三郎
- 後七、三〇 講演 朝鮮施政記念の夕「朝鮮總督府切善次郎」朝鮮古代文化の遺跡「關野貞」
- 後八、二〇 吹奏樂
- 後八、四〇 箏曲「高麗の春」
- 後九、〇〇 新講談「伊藤博文と朝鮮」伊藤痴遊
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 生爾相場
- 明日の部
- 前九、一〇 料理献立「肴の巴卷」磐井たす
- 前一〇、三〇 家庭講座「トマトケチャップの作り方」河内捨松
- 後一〇、〇五 映畫物語「源太時雨」關紫好
- 後一〇、〇〇 水上競技第六

### 傳染病流行季に入り 平署が防疫方法協議

平署では季節の移り變りとなり種々傳染病の流行に入つたので防疫上各町村衛生係と連絡を執る必要あり来る八日午後一時から同署會議室に管内各町村の衛生主任及び區長等を招集衛生事務の研究會を開き左の事項を協議する

- 一、秋期清潔法日割決定の件
- 一、各町村衛生に關する研究報告の件
- 一、衛生組合活動督勵方針の件

### 共有山林に 防火線設置

防火線の普及のため先づ同町大字酒井、窪田地内町共有山林百五十町歩に亘り防火線を設置する件を町會で議決した今回の防火線は經費一千七百圓を投じ固定線二百五十三メートル臨時線

### 髮振り亂し 驛構内で大亂闘

平驛迄の切符が無駄 石城郡平窪村生れ松本花代(三八)は茨城縣水海道町野村

回明治神宮體育大會水上競技大會(明治神宮外苑)より中絶

- 後二、二〇 運動競技秋季六大學野球リ、グ戦試合状況(明帝一回戦)
- 後六、〇〇 (子供の時間) お話「動物を大切にしませう」農學博士法學博士新渡戸稻造
- 後七、三〇 講演「最近の土耳其」内藤智秀
- 後八、〇〇 長唄「越後獅子」吉住小桃次外
- 後八、三〇 寸劇「秋のユイモア」音調座
- 後九、〇〇 室内樂(ピアノ)レオン・ロタ(ヴァイオリン)ロバート・ポリアツタ(チェロ)ハイリッヒ・ウエルクマイスター

### 結婚誘拐の 豫審が終結

石城郡 湯本町 常陸館方女中泉村瀧尻生れ下津光子(一七)假名を誘拐し平町紺屋町清水屋旅館に投宿中捕はれた新潟縣三條町當時住所不定香具師丸山佐治郎(一七)に係る結婚誘拐事件は平支部の豫審が此程終了し近く公判に附せられる筈



小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

蝶の宿 (11)

「あゝ、あたしのことならど、如何でも宜しいんですのよ、壓になつたら厭になつたでござんすからねえ。若旦那、どうぞ私のお願いだけを聞いて、一寸だけでもいゝからお宅へ歸つてやつて下さい。お父さんやお妹さんのお身の上をもちつとは考へて見て下さるやうにね。若旦那、あ、私は貴郎に怨みを言ひに来た譯ぢや決してありやしないのよ、只、お宅の方の話を親父から聞かされて、あんまりお氣の毒だと思つたもんですからね。餘計なお世話かいだつたけれども親父の清作に成替はつてわざ／＼お迎ひに出て来ただけのことなのよ。私が憎かつたら、もつと／＼打つたり、蹴るなりして一緒に歸つてやつて下さい。お願いですからさ若旦那。」

歌治は斯う言つて涙に咽せた。

「厭だ、誰が来たつ歸らない、と言つたら歸らない。」  
「そんな駄々をこねずにさ千代子さんが可哀想ですから……」

「くだいなア、放せッ。」  
歌治がまつはりつくの

いきなり突飛ばしてよろけながら赤い建物のなかへ入つた。冷たい砂利の上に歌治が投出された時に、がたりと扉を閉める響が邪慳に聞えた。  
「あゝ口惜しいねえ、どうしてあんなだらう。」  
身慄ひして吸りあげた歌



最うカーテンは閉まつてひつそりとなつてゐた。蒼い月明りが手廻に花壇の上にあつて真珠のやうな露の光に更け往く春の夜の哀愁を見せてゐた。  
途端に建物のなから賑やかな奏樂が起つた。閉切つた扉があくと其處から異彩の女がぞろ／＼と現はれて来た、飾玉のざら／＼とするダンスドレスを着けたもの、黒毛の大きな蔓のやうな物を頭に冠つたもの、赤い頬紅をしたもの、半裸体のもの、顔の白いもの、黒いのや、鶴のやうな身長のもの、ひよろりとしたもののや、ア

治の心は激しい悶えに狂はしく波打つたのであつた。  
「誰か、誰か、このまゝ歸るもんか。こうなりや意地だわ。必と連れ出して見せるわよ。」  
涙に濕つた眼を輝かしてさつと後の窓を見つると

ヒルのやうに脚の短いやまるで歌劇舞臺を見るやうないろ／＼の姿が夢のやうに歌治の前に浮出した。それが楽器のホルネットやタンポーン。クラリオネットトリアングの類を手にしてピーブーピーブー／＼ジラ

ランヂャンと合奏させ一列に庭へ下り立つたと思ふ間もなく歌治の中央にトップボツトムの二組に分れて。十字旋回のファンダンゴを踊り出した。  
踊子だけは歌治を直中にとりこめて環のやうにぐる／＼廻りながら、聲を揃へて一様に合唱した。  
「ゲーシヤ、ゲーシヤ、日本のゲーシヤ、それは憐れなお人形、赤いべ、着て三味線ひいて、夜のお伽にちよいと轉ぶ、アラ、アラ、やれさ、これさ、ラ、ラ、ラ……」  
それは一しきり横濱の外人間に流行つたことのある

「ゲーシヤの唄」  
だつた。英語でできてゐるので歌治には何の意味やら分らなかつたけれどもゲーシヤといふ一語が鋭どく耳を刺しては自分を廻りに来たんだなと直覺した。

王冠+メガネ  
無料検眼  
各眼科院御用  
根本時計眼鏡  
本店  
平野町

毛糸と編物用具  
全部新色  
入荷致しました  
相變らず御用命の程……  
平田町ハシモトヤ糸店

開店一週年記念  
謝恩抽籤附大賣出し  
期間 十月一日より八日迄  
方法 御買上高五圓毎に抽籤券一本進呈  
何卒此の機を逸せず御買上の程お勧め致します  
【一金五圓に對し】  
一等 五割引 二人  
二等 四割引 一人  
三等 二割引 一人  
四等 一割引 一人  
全部空籤なし(但賣切れ次第切)  
其他金額の多少に不拘御買上の方には記念品を差上げます  
山崎時計店  
平町五丁目新川町通り  
吉田屋染物店向ヒ

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス  
磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目電三

時計眼鏡  
トキワヤ  
平一・電三三九

新案特許  
號五一三五第一  
小鍛治式極東ムシカマド  
製造販賣元  
小鍛治商  
三平電三番

◎本品にニセ物有小鍛治式に御注意